



公益財団法人ボーイスカウト日本連盟では、より多くの青少年が当運動に参加できるよう、次の助成プログラムを実施しております。

日本の青少年を取り巻く現状

日本では3日に一人 子どもが虐待死しています。

(12年厚生労働省調査)

子どもの自殺 毎日1.4人。

(07年警察庁統計資料)

孤独を感じている子ども3人に一人。

(07年ユニセフ調査)

疲れを感じている高校生10人に8人。

(日本青少年研究所)

1人親世帯での平均所得約369万円

母子家庭に限ると約252万円

(10年厚生労働省調査)

今、日本の子どもたちは困っています。

そして、今でも、東日本大震災で被災した影響を受けている子どもたちが大勢います。



ともに進もう
助成プログラム
(ひとり親家庭等応援)

ともに進もう
(ひとり親家庭等応援)
助成プログラム

ボーイスカウト日本連盟は、青少年教育運動として、一人でも多くの青少年の成長に寄与します。全国各地のボーイスカウトは、全国約2,200か所の「団」で活動をしています。それぞれ団には、育成組織があり、子どもたちの教育活動を財政的な面をはじめとして支援しています。そして、これらの団での活動には、さまざまな事情を抱えた子供たちも参加しています。日本連盟では、これらの子供たちが参加をするための活動費の一部を団に助成します。この助成の資金は、全国のスカウトたちの協力により実施する書き損じハガキなどの回収による「もったいない寄付」により充当します。



書き損じハガキなどの回収...
もったいない寄付

書き損じハガキなどの
回収による
もったいない寄付

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟では、一人でも多くの青少年の成長に寄与すべく、スカウト教育を通じて、青少年を応援しています。

各ご家庭等にある右記のものをご提供いただくことにより、日本連盟で、これらを仕分け、整理をして、金融機関、金券類取扱業者などを通じて換金し、「ともに進もう(ひとり親家庭等応援)助成プログラム」の資金とさせていただきます。

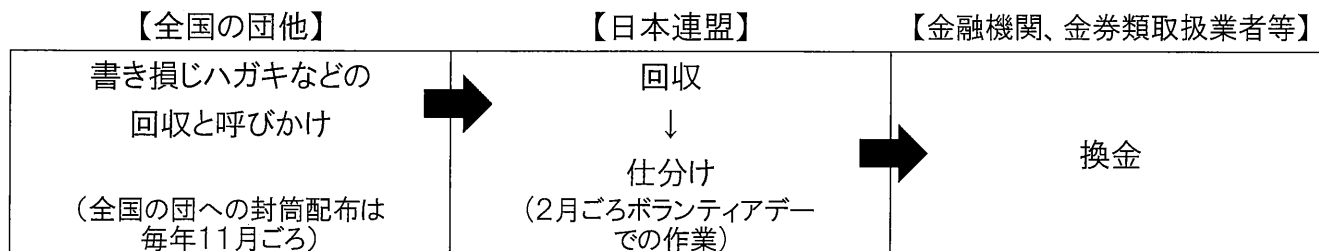
【回収対象】

- 年賀ハガキ・官製ハガキ(書損じ・未使用)
- 未使用・使用済み切手(小袋等で未使用と使用済みをお分け頂くと助かります)
- ブルーチップ(切手サイズの紙スタンプ)
- 未使用、使用中のテレホンカード・プリペイドカード(使用済みは集めておりません)
- 外国紙幣(コインは集めておりません)
- 中古 CD・DVD・ゲームソフト(シングル CD や雑誌の付録は除く、ケースや説明書のある市販品)
- ダイヤ・金・銀・プラチナ製貴金属品(石・真珠付・一部分・破損品も可)

事業の流れ



◇書き損じハガキなどの回収による「もったいない寄付」プロジェクト



(通年のプロジェクトだが、年賀はがきの書き損じがメインターゲット)

年度回収目標 : 約¥1,000,000—

◇ともに進もう(ひとり親家庭等応援)助成プログラム 新規申請

●平成29年度スケジュール(予定):

募集:平成29年9月～11月10日

審査:平成29年11月中

助成金送金:平成29年12月中



●対象: 経済的な理由によりスカウト活動の参加が厳しいご家庭を支援する。

・ひとり親のご家庭で、一定の条件を満たすこと

●助成プログラムの考え方:

・スカウト活動を理解し、参加をしているご家庭を対象とする。

→経済的な理由でスカウト活動から離れることのないようにすることがねらいです。

・具体的な助成内容(金額、期間)→年間活動費としてスカウト一人あたり3万円を助成する。対象はビバースカウト(小学校低学年)からボーイスカウト(中学生年代)までとする。一家庭における人数制限は設けない(兄弟姉妹でもよい)。一定の条件を提出書類により審査した後、助成を行う。

・継続申請の場合、年度ごとの活動報告および必要書類の提出が必要。

・個人情報への配慮を十分に行う。

・今後、企業・団体などに「もったいない寄付」「ボランティアデー」への協力を呼び掛ける。「ボランティアデー」は外部にも発信していく。

以上